



会議レポート

IFIP のセキュリティへの取り組みと 国際学会 SEC2005

はじめに

2005年5月30日から6月1日の3日間、千葉市の幕張メッセで IFIP (International Federation for Information Processing) の TC (Technical Committee) 11 主催のセキュリティに関する国際学会、第 20 回 International Information Security Conference (略称: SEC2005) が実施された。この国際学会は IEEE が主催する Symposium on Security and Privacy と並んで、セキュリティ一般に関する国際会議としてよく知られている。

IFIP のセキュリティへの取り組み

IFIP におけるセキュリティに関する取り組みは、TC11 で行われており、TC11 は、IFIP に 12 ある Technical Committee の 1 つで、「情報処理システムにおけるセキュリティと防護」に関する組織である¹⁾。現在、オランダの Leon Strous が Chair を務め、佐々木が日本代表を務めている。TC11 が単独で主催する SEC のほか、TC6 と共催の Conference on Communication and Multimedia Security などもある。

TC11 には、セキュリティマネージメントやネットワークセキュリティ、セキュリティ教育、デジタル・フォレンジックなど 9 つのワーキンググループがあり、それぞれ積極的に活動している²⁾。

SEC2005 の概要

SEC2005 は、東京電機大学佐々木を General Chair とし、筑波大学の岡本栄司教授を Program Chair、岩手県立大学の村山優子教授を Local Chair として行われた³⁾。この会議への参加者は 155 名で、うち学生が 24% であった。国別では、全体で 26 カ国からの参加があり、日本からが約半数で、米国、英国、シンガポール、中国などがそれに続く国である。アフリカや東欧の複数の国が

らの参加もあった。一般論文は投稿 124 件中 34 件の採択で、採択率は 27% とかなり厳しいものであった。採択論文の国別状況では、米国、シンガポールが 5 件ずつと最も多く、日本からは 2 件であった。

会議は 3 日間にわたり、オープニングセッションなどを除き 2 パラレルセッションで実施された。一般論文の発表のほか、特別セッション 1 として “Security Management and IT Governance”, 特別セッション 2 として, “Security Education in Asia”, パネルとして “Security in Ubiquitous Computing” が実施された。

今回の会議は 20 回記念ということで、20 回記念講演として、南アフリカの Prof. Reinhardt Botha が、発表論文数や内容の推移の調査結果を報告した。最近増加してきているものとして、不正侵入検知や、ネットワークセキュリティがあり、セキュリティマネージメントや暗号関連は相変わらず多いことなどを指摘した。従来、個別技術的なものと戦略的なものが多く、それをつなぐものが少ないという彼の指摘は的確で、それを埋める研究が大切だということを再確認させられた。

キーノートアドレスとして、Dr. Carl Landwehr が “The Future of Cybersecurity : Working Backward, Thinking Forward” と題して 40 分ほど講演を行った。彼は大学から米国 NSF (National Science Foundation) に出向しているセキュリティに関する研究企画責任者である。講演では NSF が資金を提供しているセキュリティ研究についても説明したが、彼のセキュリティに関する見識に基づき、総合的で一貫性がある研究企画が行われていることがよく理解できた。

おわりに

SEC2005 は、国内外から予想以上の参加者が得られ、財政的にも黒字の見通しがついた。また、特別セッションやパネルも幸い好評であり、会議全体としても高い評価を得ることができた。私たち主催者にとっても、アジアのセキュリティ教育の実態を知ることができたり、ユビキタス時代のセキュリティ研究の方向づけに関する世界の識者の意見を聞けたりしたのは貴重であった。関係者の方々に深く感謝申し上げる。

SEC2005 を運営した情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会のメンバは、今回の活動を通じて国際学会の重要性を認識し、電子情報通信学会の情報セキュリティ研究会のメンバと協力して、日本で毎年実施するセキュリティに関する国際学会を企画中である。

なお、SEC2006 はスウェーデンで、SEC2007 は南アフリカでそれぞれ実施される予定である。

参考 URL

- 1) <http://www.ifip.tu-graz.ac.at/TC11/>
- 2) <http://www.ifip.tu-graz.ac.at/TC11/WG/index.htm>
- 3) <http://www.sec2005.org/>

(佐々木良一/東京電機大学)